

**記載例 ※更新前後の設備・機器が1台の場合**

令和 年 月 日

**設備・機器 比較証明書**

岡山商工会議所 会頭 様  
 岡山北商工会 会長 様  
 岡山西商工会 会長 様  
 岡山南商工会 会長 様  
 赤磐商工会 会長 様  
 (管轄の商工団体を○で囲んでください)

**設備・機器メーカー又は納入業者等に証明を依頼してください。**

(設備・機器メーカー又は納入業者等)  
 住 所  
 名 称  
 代表者職名  
 代表者氏名 ㊞

岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金(第3弾)に申請する下記設備・機器について、既存の設備・機器と比較して、**省エネ効果は5%以上ある**と判断したことを証明します。

なお、省エネ又は高効率効果の計算根拠資料の提出を求められた場合は、責任をもって提出、説明することに応じます。

記

1 申請者情報

補助金申請事業者名 (法人:法人名、個人:代表者名又は屋号)	株式会社〇〇工業
設備・機器の設置場所住所	岡山市北区●●1-2-3

2 設備・機器情報

	既存設備	導入予定設備
メーカー等	A社	B社
設備・機器の名称	フォークリフトA	フォークリフト
型番又は型式	ABCDEF-1234	GHIJKL-5678
製造年		令和5年
台数	1台	1台
取得予定価格		2,800,000円
比較項目 ※	既存設備	導入予定設備
消費電力量(kw/h等)	(A)30(kw/h)	(B)28(kw/h)
消費重油量(kl/h等)		
消費ガス量(kw/h等)		

※ 上記に該当する比較項目について、○で囲んでください。該当しない場合は、岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金コールセンターへご相談ください(TEL:086-238-2885)。

既存設備と導入予定設備の動力が異なる場合は、どちらかの動力に統一して記入してください。

例)既存設備は電力、更新予定設備はガスで稼働する場合、ガスの使用量を電力換算する。

使用水量や発熱量、電気・ガス代等の金額による比較は認められません。

既存設備と導入予定設備の性能等が記載されているカタログ等をもとに記入ください。

既存設備が古くカタログ等が入手できない場合は、可能な限りインターネット等で情報収集し、記入ください。

3 次の計算式に記入してください。 ※行が不足する場合は、適宜、追加してください。

	上記比較項目エネルギー量 A 又は B	台数 C	A×C 又は B×C
既存設備	(A)30(kw/h)	1	(D) 30(kw/h)
導入予定設備	(B)28(kw/h)	1	(E) 28(kw/h)
省エネ等効果	$(D-E) \div D \times 100 =$		<b>6.66%</b> ≥ 5%

記載例② ※更新前後の設備・機器が複数台の場合

令和 年 月 日

設備・機器 比較証明書

岡山商工会議所 会頭 様  
 岡山北商工会 会長 様  
 岡山西商工会 会長 様  
 岡山南商工会 会長 様  
 赤磐商工会 会長 様  
 (管轄の商工団体を○で囲んでください)

設備・機器メーカー又は納入業者等に証明を依頼してください。

(設備・機器メーカー又は納入業者等)

住所  
 名称  
 代表者職名  
 代表者氏名

㊞

岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金(第3弾)に申請する下記設備・機器について、既存の設備・機器と比較して、**省エネ効果は5%以上ある**と判断したことを証明します。

なお、省エネ又は高効率効果の計算根拠資料の提出を求められた場合は、責任をもって提出、説明することになります。

記

1 申請者情報

補助金申請事業者名 (法人:法人名、個人:代表者名又は屋号)	株式会社△△産業
設備・機器の設置場所住所	岡山市南区■■■4-5-6

2 設備・機器情報

	既存設備	導入予定設備
メーカー等	①X社 ②Y社	Z社
設備・機器の名称	①エアコンX ②エアコンY	エアコンZ
型番又は型式	①ABC-123 ②DEF-456	HIJ789
製造年		令和5年
台数	①1台 ②1台	1台
		1,000,000円
	既存設備	導入予定設備
消費電力量(kw/h等)	①25,000(w/h)	(B)48,000(w/h)
消費重油量(kl/h等)	②26,000(w/h)	
消費ガス量(kw/h等)	合計(A)51,000(w/h)	

複数台の場合は合計の消費電力量を記入

※ 上記に該当する比較項目について、○で囲んでください。該当しない場合は、岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金コールセンターへご相談ください(TEL:086-238-2885)。

既存設備と導入予定設備の動力が異なる場合は、どちらかの動力に統一して記入してください。

例)既存設備は電力、更新予定設備はガスで稼働する場合、ガスの使用量を電力換算する。

使用水量や発熱量、電気・ガス代等の金額による比較は認められません。

既存設備と導入予定設備の性能等が記載されているカタログ等をもとに記入ください。

既存設備が古くカタログ等が入手できない場合は、可能な限りインターネット等で情報収集し、記入ください。

3 次の計算式に記入してください。 ※行が不足する場合は、適宜、追加してください。

	上記比較項目エネルギー量 A又はB	台数 C	A×C又はB×C
既存設備	(A)51,000(w/h)	1	(D)51,000(w/h)
導入予定設備	(B)48,000(w/h)	1	(E)48,000(w/h)
省エネ等効果	$(D-E) \div D \times 100 =$		5.88% $\geq 5\%$

複数台の場合も台数は1と記入

記載例③ ※更新前後の設備・機器がLED 証明の場合

令和 年 月 日

設備・機器 比較証明書

岡山商工会議所 会頭 様  
 岡山北商工会 会長 様  
 岡山西商工会 会長 様  
 岡山南商工会 会長 様  
 赤磐商工会 会長 様  
 (管轄の商工団体を○で囲んでください)

設備・機器メーカー又は納入業者等に証明を依頼してください。

(設備・機器メーカー又は納入業者等)

住 所  
 名 称  
 代表者職名  
 代表者氏名

㊞

岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金(第3弾)に申請する下記設備・機器について、既存の設備・機器と比較して、**省エネ効果は5%以上ある**と判断したことを証明します。

なお、省エネ又は高効率効果の計算根拠資料の提出を求められた場合は、責任をもって提出、説明することに応じます。

記

1 申請者情報

補助金申請事業者名 (法人:法人名、個人:代表者名又は屋号)	株式会社□□商店
設備・機器の設置場所住所	岡山市中区▲▲7-8-9

2 設備・機器情報

	既存設備	導入予定設備
メーカー等	① A社 ② B社 ③ C社 ④ D社	① W社 ② X社 ③ Y社 ④ Z社
設備・機器の名称	① 照明器具 A ② 照明器具 B ③ 照明器具 C ④ 照明器具 D	① LED 照明器具 W ② LED 照明器具 X ③ LED 照明器具 Y ④ LED 照明器具 Z
型番又は型式	① AAA-123 ② BBB-123 ③ CCC-123 ④ DDD-123	① WWW-456 ② XXX-456 ③ YYY-456 ④ ZZZ-456
製造年		① 令和5年 ② 令和5年 ③ 令和5年 ④ 令和5年
台数	① 10台 ② 10台 ③ 2台 ④ 1台	① 15台 ② 5台 ③ 2台 ④ 1台
取得予定価格		600,000円
比較項目 ※	既存設備	導入予定設備
消費電力量(kw/h等)	① 80(w/h)×10台=800(w/h) ② 90(w/h)×10台=900(w/h) ③ 50(w/h)×2台=100(w/h) ④ 100(w/h) (A) 合計 1,900(w/h)	① 40(w/h)×15台=600(w/h) ② 50(w/h)×5台=250(w/h) ③ 50(w/h)×2台=100(w/h) ④ 50(w/h) (B) 合計 1,000(w/h)
消費重油量(kl/h等)		
消費ガス量(kw/h等)		

※ 上記に該当する比較項目について、○で囲んでください。該当しない場合は、岡山市省エネ機器更新緊急支援補助金コールセンターへご相談ください(TEL:086-238-2885)。

既存設備と導入予定設備の動力が異なる場合は、どちらかの動力に統一して記入してください。

例) 既存設備は電力、更新予定設備はガスで稼働する場合、ガスの使用量を電力換算する。

使用水量や発熱量、電気・ガス代等の金額による比較は認められません。

既存設備と導入予定設備の性能等が記載されているカタログ等をもとに記入ください。

既存設備が古くカタログ等が入手できない場合は、可能な限りインターネット等で情報収集し、記入ください。

3 次の計算式に記入してください。 ※行が不足する場合は、適宜、追加してください。

	上記比較項目エネルギー量 A 又は B	台数 C	A×C 又は B×C
既存設備	(A)1,900(w/h)	1	(D) 1,900(w/h)
導入予定設備	(B)1,000(w/h)	1	(E) 1,000(w/h)
省エネ等効果	$(D-E) \div D \times 100 =$		<b>47.36%</b> $\geq 5\%$

複数台の場合も台数は1と記入